



### 高名なお坊さん(その29)

## 天海僧正(西暦1536年~1643年) 天台宗の大僧正

徳川家康の参謀として江戸幕府立ち上げ期の朝廷政策・宗教政策に関与した「黒衣の宰相」(僧でありながら権力者の側近として影響力を持った人物)。2代将軍秀忠、3代将軍家光にも仕えた天台宗の大僧正。

天海が徳川家康に面会し関係が深まるのは1590年前後。家康の信頼は厚く、江戸の都市計画や宗教政策なども任された。しかし1616年に家康は亡くなる。家康の神号争いが起こり、勝った天海は、家康の霊を「東照大権現」とし日光東照宮に改葬した。

そしてその家康を祀るため境内に「仙波東照宮」を建てた。堂内には徳川家康公の木像が祀られており、本殿の周りには歴代の川越藩主が寄進した石灯籠が並ぶ。



陰陽道では都に相應しい立地を選ぶ際に、「四神相應」という地相を重んじる。そして幕府の本拠地江戸も、陰陽道に詳しい天海の助言を元に、東に平川(神田川)、西に東海道、北に富士山、南に江戸湾があり、四方に神が宿る地相が重視された。

江戸城の北東の「鬼門」には寛永寺と上野東照宮を、南西の「裏鬼門」には徳川家の菩提寺・増上寺と日枝神社を配置するなど、江戸城、そして江戸の町を堅固な都へと形作った。



仙波東照宮

### 住職レター

私が三十年前に住職を継いだ時、一番参考にさせて貰った法話は、奈良の薬師寺管主(住職)、高田好胤師(平成十年選浄)です。あの語り口調、人を惹きつける話術、面白い話ネタの数々、未だに足元にも及びませんが、少しでも近付けるようにと、録音された法話を、何度となく聞き返しました。そしていつの日か、奈良の薬師寺へ、高田好胤師の残り香を頂くかのように、お参りさせて頂きたい、そのように思い続けてきましたが、ようやく念願が叶いました。

この度、高田好胤師に師事され、現在、薬師寺執事長の大谷徹英師にご案内いただき、薬師寺を参拝してきました。

本坊事務所でお抹茶接待、金堂にて大谷徹英師長による読経、そして有り難い説法。金堂に響き渡る説法を聴きながら、高田好胤師も、心が洗われるような、ぬくもりのある有り難い説法をされたんだろうと感じ入りました。

国宝の東塔を背景に、一緒に参拝した仲間と写真を撮りました。この東塔は、奈良時代(西暦七三〇年)に創建され、平城京に残る最古の建物です。阪神淡路大震災でも全く損壊せず、今年の元旦に発生した能登半島地震では、塔の先端部が左右に一メートルくらい揺れるも、損壊なしだったとのこと。

大講堂に移動し、その講堂の大きさと、大講堂を支える数本の直径一メー

トルくらいに柱に驚きました。この柱、なんと樹齢二千五百年の木が使われたとのこと。お釈迦様が誕生された頃の木であります。柱を触って、悠久の時を感じてきました。

薬師寺参拝し、大

谷徹英師の説法を聴

聞いたことで、少し、

心が清くなったでし

ようか。否、直ぐに

は、心は変わらな

いに気付きました。

これから、心を耕し

続けていきます。



中央の僧侶が大谷徹英師長 左から二人目が私

## ゆかりの寺シリーズ その32

長宗我部元親 ゆかりの寺  
「雪蹊寺 (臨済宗妙心寺派)」

長宗我部氏の菩提寺。四国八十八ヶ所霊場のうち二ヶ寺しかない臨済宗妙心寺派の寺院である。弘法大師によって弘仁六年に開基されたころは真言宗で、「高福寺」と称した。その後、寺名を「慶運寺」と改めているが、廃寺となっていた寺を再興したのは戦国時代の土佐領主・長宗我部元親公である。元親の宗派である臨済宗から月峰和尚を開山として初代住職に招き、中興の祖とした。元親の死後、四男の盛親が後を継いで長宗我部家の菩提寺とし、元親の法号から寺名を「雪蹊寺」と改め、今日にいたっている。



雪蹊寺本堂

鎌倉時代の高名な大仏師、運慶とその長男、湛慶がこの寺に滞在し、運慶は本尊の薬師如来像と脇侍の日光・月光菩薩像を制作、また、湛慶は毘沙門天像と吉祥天女像、つぶらな瞳で小首をかしげるかわいい善膩師童子像を彫造して安置したとされる。一時、慶運寺と名のつたのもこうした由縁で、弟子の道運、海覚作の12神将共に16体、これらは全て国の重要文化財に指定されている。



長宗我部元親



観音堂



大師堂

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要 (善教寺本堂)

五月 十六日 (木) 午後一時半

\* 毎月十六日に本堂において勤めております。

「初参式」 (善教寺本堂)

五月 十八日 (土)

午前九時半

開式  
読経・焼香・記念品贈呈

記念写真

\* 仏教婦人会主催行事

「ダーナ奉仕布教」 (善教寺本堂)

五月 十八日 (土)

午後一時半

開式  
講師 藤原正語師

(高屋町白市養国寺住職)

「安居会 (夏の法要)」 (善教寺本堂)

六月 二十二日 (土)

午前十時

朝席  
午後一時半昼席  
講師 久留島法暁師

(広島市安佐北区落合圓正寺)

今後の法要スケジュール

ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>メール [zenkyo@otera.or.jp](mailto:zenkyo@otera.or.jp)